

## 占領下の米軍施設①

横浜は、戦後最初に占領された大都市である。しかも、占領期間を通じて米第八軍司令部、在日兵站司令部と、日本に駐屯する米軍の中核施設が置かれ、東京と並ぶ米軍の拠点であった。

当然、米軍の各種施設も数多く開設されていた。横浜の中心市街地の土地や建物のかんりの部分、さらにほとんどの港湾施設が接収され、横浜の戦後復興を遅らせた。そのためか、占領期の米軍施設は、解消されるべき施設と認識され、その実態を明らかにしようという意識はこれまで薄かった。

横浜市史資料室では、米軍との交渉窓口となった横浜市渉外部の資料や、米国立公文書館から収集した米軍資料、『Stars and Stripes』（『星条旗新聞』）



米第八軍司令部 横浜税関を接収して開設  
1945年10月16日 (米国立公文書館所蔵)

など、占領期の米軍施設に関する資料を所蔵している。今回は、それらの資料によって、占領下の米軍施設の実態を探ってみよう。占領期の米軍施設が、その後の横浜の歴史に様々な影響を及ぼしたと考えるからである。

調査の第一歩として、渉外部の資料から主な米軍施設の一覧を作成した。今回はそのうち中区の関内・関外地区など中心市街地の分を掲載する（10・11ページ参照）。中区の本牧・根岸や鶴見区・神奈川区・西区・南区などについては、次回掲載する予定である。

### 宿舎・住宅

この一覧表に掲載された米軍施設から代表的なものをいくつか選んで、紹介していきたい。米軍施設といえば、司令部や部隊宿舎、各種工廠や倉庫、それにモータープールなどを思い浮かべることができるだろう。ここでは、直接軍の任務遂行に関わる施設ではなく、将兵の生活に関わる施設を中心に紹介しよう。

たとえば、宿舎といっても様々なタイプがあった。「カマボコ兵舎」と通称される宿舎は、福富町のキャンピング・コウなど中心部の各所にあつたが、これは一般兵士用の宿舎である。このほか、独身将校や軍属用には、既存の建物を接収したアパートや、新たに建設された三角屋根の宿舎などが、とくに山下町など関内地区に多く設け

られた。コートあるいはビレットが名称につく施設が、それに当たる。セブ・コート、レイテ・コート、ミンドロ・コート、パロワン・ビレットなど、いずれも第八軍の戦歴に因んだフィリピンの地名から名付けられた。

一方、将校・軍属・下士官などの家族住宅が、山下公園や山手・本牧・根岸に建設された。米軍では、一年以上の任期にとどまることに同意した者は、家族を呼び寄せることが許されていた。そのため、横浜でも一〇〇〇戸を超える家族住宅が用意された。これは、米軍にとつても一大プロジェクトであったよう、アイケルバーガー第八軍司令官からも建設状況を視察している。

中心部では山下公園一帯に、三五棟の住宅が建設され（『星条旗新聞』47・1・28）、占領終結後も使用が続いた。全面返還にいたつたのは、ようやく一九六〇年のことである。米軍は占領期から長期の駐留に備えて、宿舎・住宅を整備し、家族も含めた生活全般に関わるあらゆる施設を整えていった。とくに娯楽や消費生活に関わる施設の充実には、驚かされる。これらの施設における暮らしが強い印象を与え、日本の生活や文化に大きな影響を及ぼしたといえよう。

### 娯楽施設

娯楽の分野では、クラブや劇場・ホ



横浜クラブ 不二家を接収して開設  
1951年6月9日 (米国立公文書館所蔵)

ール、そして各種スポーツ施設があげられる。横浜赤十字クラブは、占領後の日本で最初に開設されたクラブだという。伊勢佐木町の不二家を接収して開設され、二週間かけて改修をほどこし、一九四五年一月一日に再開場したことが『星条旗新聞』に記されている（45・12・18）。ゲーム室や図書室・音楽室のほか、裁縫室・理容室もあつたと書かれている。

各クラブでは、ジャズなどの演奏や各種のショーが上演された。将校・兵士・軍属向けそれぞれのクラブがあつたほか、各部隊ごとにも設けられた。将校クラブには本町にあつたバンカーズ・クラブなど、軍属向けのクラブとしては山下町にコロニアル・クラブ、一般兵士向けには横浜公園のゴールドラゴン・クラブや日本大通りのクロスロード・クラブ（一九四八年一月

開設)、山下町のゼブラ・クラブなどがあつた。クラブははじめアメリカ赤十字が運営していたが、一九四七年九月以降に軍のスペシャル・サービス部隊が引き継いで運営することとなった(『星条旗新聞』47・9・17)。

各種シヨールに加え映画・演劇も各クラブで上演されたほか、伊勢佐木町のオクタゴン劇場(横浜松竹劇場)やメモリアル・ホール(開港記念横浜会館)でも様々な演目が上演された。将兵と家族は、毎晩のようにこうしたシヨールを楽しむことができたのである。

**P X**

消費生活に関わる施設も、アメリカの大量消費文化をそのまま持ち込んだかのようなあつた。米軍の施設として必ずあげられるPXは、米軍購買部の売店である。ただし、メインPXは売店と呼ぶにはふさわしくないほど規模が大きかった。横浜のメインPXは当初、大棧橋のたもとにある貿易会館にあつた。一九四五年一月三日に開店し、本国の様々な商品を販売するほか、スナックバーを設けてハンバーガー・コーラ・アイスクリームを供し、理容室やクリーニング屋なども備えていた(『星条旗新聞』45・11・7)。

このPXは翌年二月に、伊勢佐木町の松屋への移転が報じられている。新しいPX内にはその後、四月一五日にスナックバー、九月には美容室がオープンした(『星条旗新聞』46・2・4、



ヨーバスビルと横浜PX(左奥)  
1952年1月14日

(米国立公文書館所蔵)



開店間もない横浜PXレストラン ヨーバスビル  
1949年

(米国立公文書館所蔵)

4・12、9・7)。元の貿易会館には、四月一四日、一万冊の蔵書を備えたオクタゴン・ライブラリーが開設される(『星条旗新聞』46・4・12)。

ところで、市史資料室ではPXに関する写真も収集している。写真集『昭

和の横浜(横浜市史資料室、二〇〇九年)にも収録したが、そのなかの二枚が『星条旗新聞』に掲載されていた。記事によって詳しい事情が確認できたので、最後に紹介しておきたい。

横浜PXレストランの写真が掲載した『星条旗新聞』によると、同レストランは一九四九年一〇月にヨーバスビル、すなわち野沢屋に開設された(49・10・14)。ヨーバスとは米軍のヨコハマ・ベースという地方司令部の略称で、その司令部が野沢屋に置かれたことからつけられた。この時点でヨコハマ・ベースは廃され、ヨコハマ・コマンドが発足していたが、ビルの名称としては残っていた。

また、「PXの店内」とされていた写真は、松屋のメインPXではないことが判明した。『星条旗新聞』は同写真を掲載して、横浜モーターコマンドに一九四九年八月に新しいPXが開設されたと報じている(49・8・31)。

写真を見る限り、百貨店のような作りであるが、今のところ建物は特定できていない。横浜モーターコマンドは尾上町から弁天通にかけてかなり広い範囲を占めており、その地区内ないしは周辺の焼け残ったビルの一つだろうと思われる。

米軍施設は、同じ建物内に様々な施設や事務所が同居していることが多く、移動も激しい。施設の実態を明らかにしようとするとき、困難が伴う要因の一つである。今後も『星条旗新聞』を

はじめ米軍の資料を詳しく分析し、米軍施設の実態を明らかにする作業を続けていきたい。(羽田博昭)



横浜モーターコマンド中央入口 1950年

(米国立公文書館所蔵)



横浜モーターコマンドPX開店 1949年8月

横浜の空襲と戦災関連資料(横浜市史資料室所蔵)

43	フライヤージム	横浜公園	1953年11月12日	1958年7月8日
44	PX写真工場	吉田町(都南ビル)	1945年10月2日	1955年7月22日
45	横浜PXメインストア	伊勢佐木町(松屋伊勢佐木町店)	1945年9月3日	1952年7月4日～1953年8月14日
46	第155病院	伊勢佐木町(松屋吉田橋店)	1945年9月22日	1955年11月15日
47	第155病院兵舎	伊勢佐木町・末広町・羽衣町・蓬莱町	1945年10月4日	1955年4月13日～12月30日
48	ヨコハマ・ベース司令部、ヨーバス・ビルディング、 クォーターマスター(補給部)、購買部、技術部	伊勢佐木町(野沢屋)	1945年9月9日	1953年3月27日～1955年3月22日
49	ヨーバス・ビル駐車場	伊勢佐木町・吉田町・福富町東通	1946年3月7日	1955年12月19日
50	横浜スペシャルサービス・クラブ	伊勢佐木町・末広町(不二家)	1945年9月24日	1952年5月15日～1958年5月15日
51	PX製菓工場、事務所	伊勢佐木町・末広町(亀楽ビル)	1945年9月27日	1952年9月18日
52	クラブ45番	伊勢佐木町	1945年12月12日	1953年2月19日
53	キャンプ・コウ	福富町・長者町・吉田町	1945年10月6日	1955年1月28日～1956年8月6日
54	フライヤージム	伊勢佐木町・長者町	1945年12月15日	1953年11月12日
55	オクタゴン劇場	長者町(横浜松竹映画劇場)	1945年9月11日	1955年11月21日
56	横浜MX本部、タエグ・コート(士官宿舎)	長者町・山吹町・富士見町	1945年12月1日	1955年3月24日～1956年6月5日
57	住宅用家具倉庫(アーミーハウジング)	長者町・若葉町・末吉町	1945年9月25日	1950年6月12日～1953年5月22日
58	飛行場	若葉町・末吉町他	1945年9月25日	1952年7月24日
59	コーリアコート(婦人軍属宿舎)、 ホランダア・コート(婦人士官・軍属宿舎)	万代町・不老町・翁町・扇町	1945年10月13日	1954年1月16日～1958年3月26日
60	宿舎(コーリア・コート)	翁町(翁町公園)	1945年10月13日	1954年3月31日
61	グラウンド、石炭貯蔵所、RU、 コンソライテッド・カジュアル・ビレット、 キャステル・コート(士官宿舎)	扇町・寿町・松影町・吉浜町・山田町・ 千歳町・三吉町・長者町	1945年9月29日	1951年1月8日～1958年11月17日
62	山下公園住宅地区	山下公園	1945年9月2日	1954年6月2日～1960年6月15日
63	ミンドロ・コート	山下町(英一番)	1945年10月14日	1952年8月1日～1954年5月17日
64	宿舎、第2ポート士官食堂	山下町(香港上海銀行横浜支店)	1945年9月13日	1960年9月29日
65	軍属食堂、兵員クラブ(ゼブラ・クラブ)	山下町(山下公園前)	1946年3月18日	1954年8月27日～1969年6月30日
66	コロニアル・クラブ	山下町(ユナイテッド・クラブ)	1945年8月28日	1952年5月1日
67	ダヴァオ・ビレット(婦人軍属宿舎)	山下町(富士銀行横浜支店)	1946年3月6日	1955年4月8日
68	パロワン・ビレット、シビリアン・メス	山下町(スタンダード石油)	1945年9月22日	1951年1月23日
69	グランドホテル	山下町(ホテルニューグランド)	1945年8月30日	1951年8月13日～1952年7月24日
70	第8軍軍政部、会計部、調達官、山下公園住宅、 セブ・メス・ホール	山下町(日本勧業銀行・ドイツ領事館他)	1945年11月4日	1952年7月16日～1953年8月20日
71	レイテ・コート(婦人軍属宿舎)、 セブ・コート(士官宿舎)	山下町	1945年11月4日	1952年8月6日～1957年1月18日
72	パナイ・ビレット(婦人軍属宿舎)	山下町	1945年9月23日	1952年5月14日～1954年8月27日
73	軍属宿舎(娯楽荘ビレット)	山下町(五楽荘)	1945年9月3日	1956年10月17日
74	ヘルムハウス(宿舎)	山下町(ヘルムハウス)	1945年9月1日	1951年11月29日～1952年7月14日
75	インベリアルアパート(士官宿舎)	山下町(インベリアルアパート)	1945年8月20日	1955年12月19日
76	ライジングサン・ホテル	山下町(ライジング・サン)	1945年9月1日	1952年4月1日
77	センタニ・アパート	山下町	1945年9月18日	1952年7月12日
78	憲兵隊、CID	山下町(日赤神奈川支部)	1945年9月20日	1951年1月8日
79	QMストア	山下町	1946年9月2日	1952年5月9日
80	QMランドリー	山下町(千代田火災海上保険)	1945年10月5日	1950年7月28日
81	AEPスクール(軍教育センター)	山下町(ユニオンビル)	1945年11月2日	1952年5月21日～8月28日
82	マルスビル(憲兵司令部)	山下町(シベルヘグナー・藤沢商会他)	1945年11月1日	1948年3月11日～1952年10月16日
83	ゼブラ・クラブ(兵員クラブ)	山下町(東京銀行山下支店)	1946年2月6日	1955年9月9日
84	MP詰所	山下町(加賀町警察署)	1945年9月15日	1952年7月1日

出典：横浜市接收解除対策本部「横浜市内接收地調査・建物調査」、横浜市総務局「横浜市の接收と復興」、横浜市企画課「解除面積調査」、横浜市渉外部「横浜市内における接收解除の経過並びにその現況」他から作成。

注：①今回は横浜市中区の内、山手・本牧・根岸地区を除く、関内・関外地区を中心に掲載した。②米軍施設名はその区域にあった代表的な施設をあげた。③日本側の地域(建物・施設名)は、土地の場合は所有者、建物・施設の場合はその名称を示した。④接收年月日は、資料によって若干のずれがあるが、施設ごとに最も適切と判断した日付を掲載した。⑤数回にわたって解除された施設の解除年月日は、最初の一部解除から最終解除までの期間で示した。

付記：各施設の場所については、写真集『昭和の横浜』(横浜市史資料室、2009年)掲載の「YOKOHAMA CITY MAP」を参照されたい。

## 占領期の米軍施設1(中区①)

	米軍施設名	地域(建物・施設名)	接收年月日	解除年月日
1	横浜冷蔵倉庫	新港町(船舶給水所)	1945年9月3日	1956年3月5日～1994年4月1日
2	セカンド・メジャーポート、 第2港湾輸送司令部	新港町(新港埠頭)	1945年9月3日	1951年10月26日～1960年11月21日
3	サウス・ピア	海岸通(大棧橋)	1945年9月2日	1952年2月15日
4	第8軍司令部、在日兵站司令部(JLC)	海岸通(横浜税関ビル)	1945年9月20日	1953年11月27日
5	憲兵隊裁判所	海岸通	1945年10月11日	1949年3月31日～1952年7月24日
6	通信部隊、オクタゴン・ライブラリー	海岸通(貿易会館)	1945年9月1日	1952年7月3日
7	ルソン・アパート婦人宿舎	海岸通(水上警察署)	1945年9月3日	1951年9月8日～1954年3月31日
8	第7基地郵便局、印刷工場	海岸通(三菱倉庫)	1945年9月3日	1956年6月21日
9	海上輸送隊事務所、身廻品倉庫、住宅管理部	海岸通(三菱倉庫)	1945年9月20日	1952年9月24日～1953年1月16日
10	オルモク・アパート	海岸通・元浜町(武山ストアー他)	1945年9月16日	1952年5月14日
11	第8軍軍政部、ヨコハマ・コマンド法務部、 第三鉄道輸送司令部、海上輸送隊	海岸通(日本郵船横浜支店)	1945年9月1日	1949年5月25日～1956年8月17日
12	倉庫	海岸通・新港町(万国橋ビル)	1945年9月1日	1953年3月31日～1956年9月4日
13	JLC事務所	元浜町(三丸興業所)	1945年9月10日	1952年7月29日～1954年2月19日
14	中央記録局	元浜町・海岸通(横浜貿易倉庫)	1946年3月12日	1952年10月27日
15	セカンド・メジャーポート兵舎地区	弁天通・尾上町・太田町・相生町・住吉町・ 長者町・常盤町	1945年9月7日	1952年4月25日～1953年12月19日
16	シルクハウス・ビレット、営繕部、診療所	北仲通(生糸検査所)	1945年9月1日	1947年1月31日～1948年12月2日
17	兵舎	北仲通(帝国蚕糸)	1945年9月23日	1952年7月16日
18	CIE(民間情報教育局)	北仲通(海員会館)	1945年9月15日	1948年6月12日
19	民間人事部	本町・北仲通(江商ビル)	1945年9月15日	1952年5月16日～7月9日
20	メモリアルホール、横浜メス、エンジニアクラブ、 スペシャルサービス司令部、JLC調達事務所	本町・南仲通(開港記念横浜会館)	1945年9月1日	1949年11月5日～1958年6月30日
21	赤十字	本町(開港記念横浜会館裏)	1946年2月1日	1952年7月11日
22	サマル・アパート(婦人宿舎)	本町・北仲通(大同生命他)	1945年8月31日	1954年6月11日
23	横浜CID(犯罪捜査部)本部	本町・北仲通(同和火災)	1945年9月1日	1954年8月24日
24	サビックベイ・アパート(婦人宿舎)、食堂	本町(住友銀行)	1945年9月30日	1954年6月2日
25	第155病院外来患者診療所	本町・南仲通(証券取引所ビル)	1945年9月8日	1952年6月6日～1954年11月8日
26	バンカーズ・クラブ、事務所	本町(銀行協会)	1945年9月15日	1952年8月1日～21日
27	ユナイテッド・シーメンズ・サービス、事務所	本町(神栄生糸ビル)	1945年9月20日	1952年4月30日
28	兵器部、輸送部	本町(若尾ビル)	1945年9月3日	1952年7月15日
29	神奈川軍政部	本町(片倉ビル)	1945年10月7日	1949年12月30日
30	JLC調達部事務所、米陸軍調達部事務所	本町(三菱商事)	1945年10月28日	1970年2月6日
31	PX自動車修理工場、モータープール	本町・北仲通(水上消防署・日本海運・ 旭シルク・三丸興業・日本通運他)	1945年9月15日	1952年5月15日～1953年11月24日
32	事務所、労働部	尾上町・常盤町(YMCA)	1945年9月1日	1949年11月15日～1952年1月7日
33	横浜モーター・コマンド	尾上町・常盤町・住吉町・真砂町・弁天通・ 相生町・南仲通・港町・太田町	1945年9月7日	1950年4月25日～1955年3月30日
34	横浜モーター・コマンド司令部、事務所	相生町(毎日新聞社)	1945年9月1日	1951年9月21日
35	ブナ・アパート(婦人宿舎)	南仲通(東京海上火災)	1945年9月20日	1955年4月8日
36	憲兵隊宿舎	港町他(元市庁舎)	1945年11月3日	1955年3月30日
37	ヨコハマ・コマンド司令部	日本大通(日綿実業ビル)	1945年9月2日	1952年5月9日
38	セントラル・コマンド司令部	日本大通(日綿実業ビル)	1952年10月20日	1959年10月30日
39	横浜モーター・コマンド、 クロスロード・クラブ	日本大通(朝日生命他)	1945年7月17日	1952年8月25日
40	野外劇場、横浜チャペルセンター他	横浜公園	1945年9月25日	1952年4月8日～1978年6月19日
41	ルー・ゲーリックスタジアム	横浜公園(横浜公園球場)	1945年9月25日	1952年4月8日
42	ゴールデンドラゴン・クラブ、 キャンプ・ヨコハマ司令部	横浜公園(武道館)	1945年9月10日	1952年7月3日